

平成29年度 学校経営計画書

石川県立門前高等学校

校長 大窪 直二

1 教育目標

- (1) ふるさとに誇りを持ち、広い視野にたって社会に貢献する人間
- (2) 生涯学び続ける意欲に満ち、確かな学力を身に付け、個性や創造性に富む人間
- (3) 責任とモラルを重んじ、人を思いやる心豊かな人間
- (4) 健康や体力の増進に努める、活力ある人間

2 教育方針

「第2期石川の教育振興基本計画」の基本理念「未来を拓く心豊かな人づくり」のもと、一人ひとりの個性や適性に応じたきめ細かな教育を推し進め、基礎的・基本的な知識・技能はもとより、自ら学び、課題を見つけ、解決できる力を身に付けた、未来を切り拓こうとする気概あふれる積極果敢な人づくりを目指し、あわせて、本校生徒の実態に応じて、下記のように教育方針を定め、教育目標の達成に努める。

- (1) 生徒の「能力、適性、進路」に応じた教育計画を作り、自主的学習態度の育成を図り、向学の気風の溢れる学園を建設する。
- (2) 自主・自立を旨とし、規律ある気品と真面目さをもつ生活の実践に心がけて、基本的な生活習慣を身に付けさせるとともに、親和友愛の気風がみなぎる学園を建設する。
- (3) 豊かな夢と希望を育てる努力を続け、能力・才能を最大限に伸ばさせるとともに、適正な進路指導によって、社会貢献への使命感の確立に努める。
- (4) 体力の増強、スポーツの振興を図って、明朗で活気あふれる学園を建設する。
- (5) 教育職員として、その職務の遂行に専念し、たえず専門の研修に努め、変化する社会情勢への対応を組織をあげて迅速に行う。
- (6) 環境の美化につとめ、情緒の安定を図り、公德心と豊かな心情の育成に努力する。
- (7) 保護者への広報活動を積極的に行うことにより、本校の教育に対する理解と協力を求め、助言を求めていく。

3 中長期的目標

(1) 解決すべき課題

- ①基礎学力及び家庭学習の定着と学力の向上への取り組みを行う必要がある。
- ②国公立大学合格者の増加を含めた希望進路実現への取り組みを行う必要がある。
- ③ボランティア活動、部活動等とおして、公共心と規範意識を啓発する取り組みを行う必要がある。
- ④部活動の更なる活性化と成績向上への取り組みを行う必要がある。
- ⑤コミュニケーション能力を育成する取り組みを行う必要がある。
- ⑥インクルーシブ教育の取り組みを推進する必要がある。

(2) 生徒に関する中長期的目標

『何事にも意欲をもって行動し、自らを高め、社会性を身に付けるなどの自己啓発を図り、進路希望を実現できる生徒の育成』

- ①勉強の大切さを自覚させ、家庭学習の定着と学力の向上を図り、希望進路の実現に資する。
- ②部活動の全員加入と実活動率及び成績の向上を目指し、強い心・耐える心・頑張る心を養うと同時に規範意識を育む。
- ③ボランティア活動や地域の行事等に積極的に参加し、ふるさとの良さを知ると同時に自己効力感をもたせる。
- ④特別支援教育の充実により、学習困難・生活困難を克服し、社会活動を行う上で共通に身に付けるべき資質・能力・態度の育成を目指す。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ①連携型中高一貫教育校の意義を理解し、生徒・保護者・地域の信頼と期待に応える教育活動を組織的に行う。
- ②幅広い教養と知識、豊かな感性をもち、常に生徒と真剣に向き合う姿勢を保つ。
- ③危機管理、健康管理等の自己管理意識をもつと同時に自己研鑽に努め、資質の向上を図る。
- ④各主任を中心に全職員が教科経営、分掌経営に主体的・積極的に参画し、学校の活性化に努める。
- ⑤開かれた学校づくりの推進を図る。

4 今年度の重点目標

- (1) 主体的な学びと進路実現をめざして、授業改善と家庭学習の習慣化を図る。
- (2) 規範意識や協働する意識を養い、地域に貢献する人材の育成を目指す。
- (3) 部活動やボランティア活動を推進し、学校の活性化を図る。
- (4) 安心・安全な学校づくりを推進する。